

のさむ

創刊号



“一年を振り返って”

理事長 村田 茂次

理事長の村田茂次です。開設以来一年四ヶ月が経過しました。開設一年目は、職員の一体感と資質の向上に努め、利用者の自主性を尊重し、利用者は勿論、ご家族の方にも、当施設に対し、安心感をもっていただけるよう努力してきました。ユニット・ケアの特色であるサービスの個別化など十分な効果を残せなかったこともありすが、お蔭様で大きな事故もなく一年を過ごすことが出来ました。これも利用者、ご家族を始め、地域の皆さん、ボランティアの方々のご協力によるものと、職員共々深く心に刻んでおります。

今年は、一年間の反省を踏まえて、日常の身の回りの介護は当然ですが、当施設のセールスポイントであるユニットケアの特色である利用者の個性を十分配慮したサービスの個別化の徹底化を図ります。併せて介護の三大介護すなわち食事・入浴・排泄の一層の充実を図ります。例えば、食事には秋口より選択食の実施、入浴は同性介助、排泄にはオムツ外しを一層進めます。身体拘束ゼロは引き続き継続していきます。また特養利用者の方とデイサービス利用者の垣根をはずし積極的に交流するなどして、余暇・趣味活動を充実して利用者の生活に潤いの充実に努めます。色々ありますが引き続き利用者本位の介護を進めます。職員一同精進していきます。引き続き皆様のご協力をお願いします。

新型特別養護老人ホーム

ユニットケアとは？

従来の特別養護老人ホームでは「介護単位」という考え方において、一般的には30人から50人程度の利用者をまとめて介護がされてきました。これは、利用者側よりもむしろ、サービスを提供する側の立場で、介護職員の方々のローテーションの都合などに合わせたいわゆる管理単位で施設運営をするといったものでした。そうした施設運営では、利用者同士がなじみの関係を形成し、利用者らしい生活が送れるかどうかという面よりも、管理側・働く側の事情が優先されがちで、個別ケアを実施していくことにおいては限界が伴います。そのような施設運営を脱皮し、利用者の生活時間に近づくために「生活単位」＝「ユニット」を形成し介護サービスを提供していこう、というのが「ユニットケア」の考え方です。ユニットは従来の30人から50人程度の大規模の介護単位ではなく通常8人から14人前後の小規模での生活単位となります。ユニットケアは小規模ケアですが、単に大規模ケアを小さくしたということではありません。家庭的な雰囲気のもと、小規模の生活単位の中で1人1人に対するケア、個別ケアを行い利用者がその人らしい生活を送れるようにケアしていくことにあります。

と、教科書に書いてあるようなことを書かせていただきましたが、ユニットケアのハードルは高く、ハード面は別としてソフト面については胸を張ってユニットケアを実践しています、とは残念ながら言える状況ではありません。ユニットケア実践に向けて試行錯誤の毎日ですが、利用者の方やご家族、関係機関の協力を得ながら「むさしの」が温かみのある施設になるように努めていきたいと考えております。



〈吉江課長〉

真空調理とは？



スチームコンベクションオープン

むさしのでは、真空調理法を取り入れて調理しています。この調理法は、鍋を使用しないで、袋の中に生の材料を入れ、調味液を加え、空気をぬいて袋のまま調理する方法です。特徴として空気を抜くことにより調味液が食材の芯まで均一に浸透します。真空パックすることで素材のもつ風味や旨み・栄養分が流出しません。空気を媒介せず真空の袋からダイレクトに熱が伝わるため食材の芯まで熱が伝わりやすく柔らかくジューシーな仕上がりになります。この真空調理を活用しつつ入所されている皆様が安心して、おいしく食べていただくために、いろいろとご意見を伺いながら今後の食事作りを行っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。（栄養課）

利用者の日頃の生活風景

食事



1階の厨房で調理した食材を、ユニットごとに運びます。料理は各利用者の身体状況ごとに盛り付け、例えば、噛む力の弱い方には御飯をお粥にしたり、おかずを食べやすいサイズに刻んだりして1人1人に合わせた食事を提供します。食事の時は楽しい会話がこぼれます。

入浴



むさしの自慢の”ひのき風呂”です。
個人用の浴槽になっているため、のんびり、リラックスして浸ることができます。ひのきの香りに包まれて、リフレッシュ！
毎回ひのき風呂に入るたび「草津よいとこ
一度はおいで♪よいようい！」
と歌われる方もいらっしゃいます。

デイサービス



朝の送迎で「おはようございます」のあいさつからデイサービスは始まり、体調確認、入浴を行います。その後、主に趣味活動を行います。入所している方と共に編み物や木工作業、また、独自の調理等による行事も実施し、交流を深めるだけではなく、趣味の幅を広げています。午後もレクリエーションを行い、体を動かしたり、カラオケを行なったりと、強要するのではなく、“やりたい”という事を個別化し、1人ひとりに合った1日を過ごして頂いています。今後は、通所者のみならず入所者との交流を更に深め関わりを多くして行く予定です。(デイ利用者と喜多院にお参りに出かけました)

リハビリ



1階にある訓練室では、この8月より個別の機能訓練やマッサージの他に、集団での遊びリテーションを行なっています。ボールや風船、歌などを使い、遊びながら元気に楽しく体を動かしていこうと思っています。週に1度は理学療法士の三井先生とリハビリを行っています。

行事特集 大運動会

毎月ホーム全体で盛大に行うものから、各ユニットで和やかに行うものまで様々な行事を行っております。ここでは6月に行われた「ユニット対抗大運動会」と7月の「七夕まつり」の報告をします！



☆たくさんボールをいれるわよ！
皆さんはりきってます。



☆玉落とし競技！さぁみんなで引っぱれ！
引っぱれ！ばんばるぞ～



☆パン食い競争。さあ！
誰が一番に食べられるかな？



☆風船バレー。落とさないように！
そ～れっ！！

☆カゴに狙いを定めて…皆さん真剣です！

七夕まつり



◎「好きな食べ物は何ですか？」
子どもたちからのたくさんの質問にニコリ。



◎南畑小の児童から元気なダンスのプレゼント♪
「元気ねえ！」と皆さん感心のご様子

納涼祭

7月31日午後5時より行われた納涼祭の様様です。天気にも恵まれ楽しい雰囲気の中開催する事が出来ました。



ちんどん屋さん登場！



子供に大人気！
景品ゲットだぜ！



よさこい節！！
はぁ～よいよい◎



今日の祭りに、わく わく！
うき うき！



ビール最高！！
今日は飲んじゃうヨ



たくさん取れるかな？



デイ利用者の手作り作品販売！
たくさんお買い上げありがとうございました。



みんなも一緒に花笠音頭♪



職員の演奏「ふるさと」
みんなの前で、大変緊張しました！



祭りだ♪祭りだ♪

家族、ボランティア、職員のみなさま御協力ありがとうございました。
思い出に残る楽しい納涼祭になりました。また今後もよろしくお願い致します。

レクリエーション



日常生活の活性化を図るため各利用者にあったレク活動を毎日おこなっています。昔の映画のビデオ上映会やカラオケで青春時代の歌を皆で唄い楽しめるレクから季節ごとのちぎり絵の作業的なレクなど幅広く行っています。7月のちぎり絵は「ひまわりと富士山」8月は「花火と山」です。いつかこれまでの作品を展示して見て頂きたいものです。

クラブ活動



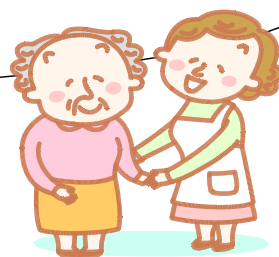
余暇活動の一環としてクラブ活動を行っています。書道クラブ・手芸クラブ・ハーモニカクラブなど施設外よりボランティアの先生におこして頂き、活動します。利用者の方も楽しみながら参加され、ショート利用者で書道クラブを大変楽しみにされている方や「書道は精神統一になります」と目的を持ち、参加されている方もいます。
(書き上げた作品は各ユニットに掲示してあります)



豆知識

暑い日が続いていますが、夏風邪などひかないよう外出から帰宅後は、すぐに手洗いとうがいをいたしましょう。夏風邪はビタミンC（果物・新鮮な野菜）とカロテン（トマト・小松菜・ほうれん草・ブロッコリー等）を多く摂取するとともに水分補給も大切です。こまめにお茶や麦茶・レモン水などを補給しましょう。

むさしのを御利用している御家族からの 心温まる御言葉です。



● デイサービス利用（秋山 江つ氏）の御家族、大谷 英輔氏より

母が「デイサービスむさしの」に通い始めて早や一年が経ちました。あくまでも本人の負担にならないことを前提に週一度のコースを選びました。当初は職員や参加される皆さまにご迷惑をおかけしないかと心配していましたが、少しずつ話相手も出来たようで今ではその日を心待ちにしている様子です。施設で教えて頂いた編物で孫に膝掛けを作ってやれたと大喜びでした。回転寿司の昼食会も大変楽しかったようで次にどんな企画をして頂けるのかと楽しみにしている様子です。「施設の職員の皆さんとても優しいのよ・・・」と言うひとことに職員各位のご苦勞が忍ばれます。今後とも宜しくお願い致します。

● ショートステイ利用（森井 美和氏）の御家族、森井 勝也氏より

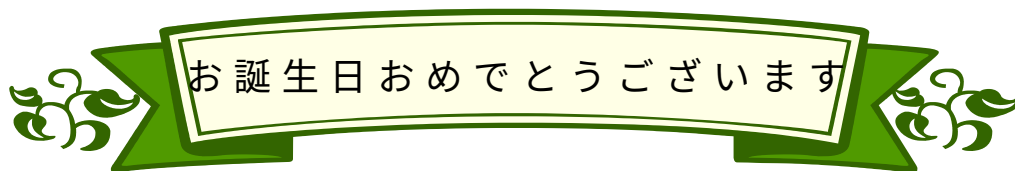
脳梗塞で倒れ、ケアマネジャーの紹介で「むさしの」にお世話になり早一年になります。わがままな母なので施設に慣れるかと心配したことを思い出します。食べる・寝ることで日々を過ごしていた生活がわずか数日で皆と一緒にテーブルにつき、テレビを見ている姿を見てほっとしました。回数を重ねるごとに、何日から「むさしの」へ行くのかと聞く程楽しみにしております。又、迎えに行くと泣きながら職員に送られて玄関まで出てくることもしばしばです。心身ともに回復している証です。スタッフ一同の適切な介護に感謝しております。

● 特養施設3階（持田 いる氏）の御家族、持田 務氏より

私の母が生活している“さくら”の食堂の壁のパネルにメンバーの横顔が紹介されています。母は其中で、すきな言葉は“親切”と答えています。骨粗しょう症で手足が動かなくなった母にとって、むさしのの看護・介護スタッフの親切こそ何よりも尊く、素直にこの言葉が出たのではと思っています。心身の衰えが目立つ母が、この五月に体調を崩して入院治療を受けむさしのに戻った際、迎えの所員に、ただいまとはっきり挨拶をしました。このようにしっかりした母を見るのは私にとってとてもうれしい事です。今、願っていることは母がむさしのでの毎日を明るい気持ちで過ごすことです。そのためにできることを考えていこうと思っている所です。



今回このようなお話が聞けて大変良かったと思います。
これを励みに今後も職員一同頑張ります。ありがとうございました。



氏名	生年月日	年齢	性別	部屋
渡辺 種次 氏	明治43年 5月 8日	94歳	男	ショートステイ
斉藤 たま 氏	明治44年 7月15日	93歳	女	ショートステイ
吉田 健 氏	明治44年 5月13日	93歳	男	ショートステイ
持田 いゐ 氏	明治44年 6月 7日	93歳	女	特養
丸山 好 氏	大正 2年 6月22日	91歳	女	ショートステイ
板場 ミサヲ氏	大正 2年 6月24日	91歳	女	特養
内田 はる 氏	大正 2年 7月20日	91歳	女	特養
高橋 よすみ氏	大正 5年 5月12日	88歳	女	ショートステイ
安藤 みつえ氏	大正 6年 5月11日	87歳	女	特養
斉藤 ワカ 氏	大正 6年 7月 7日	87歳	女	特養
神田 ハル 氏	大正 8年 6月22日	85歳	女	ショートステイ
佐藤 きみ子氏	大正 8年 7月 3日	85歳	女	特養
山下 福次郎氏	大正 9年 6月 1日	84歳	男	ショートステイ
中澤 儀一郎氏	大正 9年 7月10日	84歳	男	ショートステイ
山田 次郎 氏	大正12年 6月 5日	81歳	男	ショートステイ
山口 花子 氏	大正13年 5月24日	80歳	女	ショートステイ
朝倉 ツヤ子氏	大正13年 7月22日	80歳	女	特養
中山 唯之 氏	大正14年 7月 4日	79歳	男	ショートステイ
潮田 安生 氏	大正14年 7月21日	79歳	女	ショートステイ
福田 永生 氏	大正15年 5月27日	78歳	男	特養
池野 竹次郎氏	大正15年 7月 7日	78歳	男	ショートステイ
林野 須美子氏	昭和 2年 7月25日	77歳	女	ショートステイ
小林 昭平 氏	昭和 7年 6月 5日	72歳	男	特養
坂部 美穂子氏	昭和12年 7月16日	67歳	女	特養

発行人

社会福祉法人ふじみ野福祉会

- ・ 特別養護老人ホーム
- ・ デイサービスセンター
- ・ ヘルパーステーション
- ・ 支援センター

施設長 森川 英一

編集後記

夏本番、日ましに暑くなるさなか

むさしの広報誌創刊にあたり

各関係者の皆様に御協力いただき

誠にありがとうございました。

今後も”むさしの”の事を少しづつ

ですが紹介していきたいと思ひます。

お矢がせ

次回は10月末発行予定です
お楽しみに!!

〒354-0003

埼玉県富士見市南畑新田16-1

TEL 049-255-6102 FAX 049-255-6601